



2025年



ヤクルト保育園
プティット小野田

厳しい暑さが続き、残暑をどう楽しもう？というこの頃。子どもたちはまだまだ暑さに負けず元気に過ごしています。

そんな中、ケガをしていないのに絆創膏を貼っている子どもたちを最近よく見かけます。

何故、絆創膏が貼りたいの？と子どもたちの気持ちを考えてみましょう。

ケガをしていないのに絆創膏を貼りたがる子どもは、**好奇心？安心感を求める気持ち？ごっこ遊び？**様々な理由でそうした行動をとります。無理にやめさせるのではなく、気持ちを受け止めながら対応すると安心します。

1. 気持ちを受け止める

まず「貼りたい」という気持ちを否定せず共感する。「絆創膏好きなんだね。」「お医者さんごっこしたいんだね」

2. 安全に満たせる代替案を用意

ごっこ遊び用に紙テープやマキシングテープを渡す。「おもちゃ用絆創膏を作って遊ぶ。」ぬいぐるみを相手に「お医者さんごっこ」をして遊ぶ。

3. 貼りたがる背景を観察

この行動は、好奇心や「守られている」という安心感を求める気持ちがあるのかな？

4. 貼り続けられないためにルールを決める

「血が出ている時に貼ろうね。」「今日は1枚ね。」など簡単で守りやすいルールをきめる。貼り続けると炎症をおこす可能性もあります。

5. 成長に合わせた声かけ

「絆創膏はケガをした人のためのお薬みたいなものだよ。」「貼らなくても大丈夫。」「

ご家庭でも「絆創膏はケガを治すためのもの」という説明をしながらも遊びの中で満たす方法を取り入れていただけると子どもの気持ちが落ち着きやすくなります。



水遊びに野菜の収穫、カブトムシのお世話など夏ならではの楽しみを満喫！水がかかるのを嫌がらなくなったり、苦手な野菜を収穫して食べれるようになったり、怖がって触れなかったカブトムシに触れたり大きな成長を遂げた夏でした。



安全だより

子どもに必要な快適な室内環境

1. 健康に過ごせる快適な室内環境

室温 外気温との差を5℃以内を目安に
湿度 40～60%

2. 清潔で安心できる環境

室内や玩具の清潔の維持。

3. 安全で事故のない環境

転倒、誤飲、感電を防ぐ工夫をし家具などの角はガードで保護。

4. 心地よい光と音

お昼寝は照明を落とし静かな環境。
騒音を防ぎ、落ち着いて過ごせる雰囲気。

5. 発達を支える空間

子どもが自分で選べるおもちゃや絵本を用意。

快適な室内環境とは、

「健康・安全が守られ、子どもが安心して遊び、学び休める空間」



保健だより



救急の日 9月9日は救急の日です。

ご家庭に救急箱はありますか？子どもけがをしたり、具合が悪くなった時にすぐに使えるようにしておきましょう。

- ・中身を点検しておきましょう（薬、ガーゼ、テープ、爪切り、ピンセット、絆創膏、体温計、脱脂綿、綿棒、包帯、ハサミなどを入れておくとう便利です。
- ・薬の使用期限は1年に1度は確認しておきましょう。
- ・消耗品は使ったら買い足しておきましょう。